

想像の翼にのって— vol.4 国境を超えてつながる人々

すっかり見慣れた光景になってしまったが、電車に乗り周囲を見渡すと、ほとんどの人がスマートフォンを片手にそれぞれが必要とする情報にアクセスしている。学生時代の僕は、電車での移動中、車窓から流れる風景を眺め、季節の移ろいを感じるのが好きだった。あの頃は、本や新聞を読んでいる人も多かった。初代 iPhone が発売されたのは2007年、僅か10年間に僕らの生活は大きく変わった。言いたいのはその良し悪しではなく、時代は変わるということ。

テレビの時代は、マスメディアと大衆という一方通行で成り立っていた。情報発信できるのは、総務省が与える放送免許という利権を持つ特定の人たちだけに許されたものだった。テレビ、ラジオ、新聞と、情報発信は一握りの人たちが独占し、大衆は揃って同じ情報を消費し、操られる側だった。インターネットの時代は、大衆と大衆という双方向で成り立っている。情報発信の利権は大衆に開放され、個人レベルでの多様な価値観が交わり始めた。

世界は色とりどりだからこそ美しい。これは、僕の根底にある変わらない理想である。それぞれの土地、それぞれの人、それぞれの想い、それぞれの色。一つの価値観を押し付けるのではなく、多様な価値観を認め合う。インターネット空間で80億の人と人となりがつな

『個人メディアが牽引する世界』

文 赤峰俊治 text by Shunji Akamine

がる新しい時代はきっと、色とりどりの社会になる。夕焼け空のように、様々な色が混ざり合い、溶け合い、新しい視点や発想や価値が生まれていく。僕らはアジア人となり、地球人となる。

アジア全域に広がる、僕らの YouTuber ネットワークだけをとってみても、今後、国境を超えたコラボレーションは増えるだろう。日本人が書いたスクリプトを、ブルネイ人が演じて、スリランカ人は音楽を奏でて、ウズベキスタン人が編集する。想像するだけで、わくわくする。オンラインのやりとりにより低予算で制作したものが、ハリウッド映画より多くの人に見られる日も近い。彼らは新しい時代に先駆けて、様々な可能性を映像を用いて可視化していく。

メディアの参入障壁は無くなり、誰にでも平等なチャンスが開かれたことで、これまでの社会システムでは埋もれてしまっていたような、様々なジャンルの才能も目の目を見るようになるだろう。生まれた国や資本背景は関係なく、必要なのは個人の能力と行動力。次の号では、アジアを舞台に次世代メディアの可能性を追求する仲間であり、アジアのデジタルメディア・エンターテイメントシーンをリードする WebTV Asia 創業者の Fred Chong と会い、久々に語り合いたいと思う。



Profile

Arigato Japan Inc. CEO & Founder / Cool Japan TV. Executive Producer

1971年、大分県出身。

國學院大学卒業後、政府系金融機関の信用保証協会に入社。融資審査業務に携わる中で、企業にとって既存の商圏を越えることのできるインターネットメディアに可能性を感じて起業。オンライン動画を活用した行政や企業の情報発信プロデュースにおいて数々の実績を残す。もっとも面白いチャンネルを投票で決める「USTREAM大賞」を2年連続受賞。現在、43カ国に約5,000人の会員を持つ、オンライン動画スクールを運営。アジア最大のYouTuberネットワークを活用した、インバウンドプロモーション及びマーケティングを手掛ける。

<http://arigato-jp.com>